

令和4年度活動状況

1. ジオセーフ創立10周年事業

本機構が、2012年12月26日に創立されてから10周年を迎えましたので、その記念として、10年間の歩みを振り返ると共に、4名の学識経験者の方々に、最近の話題を提供して頂き、談話会を開催しました。談話会の後、今後の本機構のあり方についての意見交換会も併せて実施しております。28名の方々の参加を頂き盛会のうちに終えることができました。下記に談話会のプログラムを掲載します。

NPO 法人研究機構ジオセーフ創立10周年記念事業

－ ジオセーフの10年と今後の展開 －

開催日時 : 令和5年1月30日(月)

記念談話会 16:00～18:00

意見交換会 18:00～19:30

開催場所 : TKP 博多駅筑紫口ビジネスセンター8階802号室

福岡市博多区博多駅中央街4-8

談話会プログラム :

司会 : 石貫理事

開会の挨拶 善 理事長

① 10年間のジオセーフの歩み

石貫 理事

② 秋田の風力発電建設状況

善 理事長

③ モンゴルで現地仲間と共に取り組む乾燥地栽培・緑化に向けた
14年間の歩みとこれから

安福副理事長

④ 地盤強度の空間的ばらつきと支持力の関係

笠間 理事

⑤ 気候変動下で甚大化する佐賀平野の高潮災害に対する適応策の
立案に向けた検討

橋本典明九州大学名誉教授

閉会の挨拶 江頭 監事



談話会風景

談話会で石貫理事が説明された「ジオセーフの10年間の歩み」の資料をホームページに掲載しております。

2. 西九州自動車道道路法面施工技術検討委員会への参画

国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所の委員会

(委員会設立趣旨)

2018年10月に供用中の西九州自動車道で切土のり面崩壊が発生した。この崩壊箇所周辺は、第三紀の堆積岩類からなっており、その特徴的な風化特性や長大切土による地下水環境の変化などの複雑な要因が絡んで崩壊に至ったとされている。

西九州自動車道伊万里松浦道路・伊万里道路においては、今後も設計・施工が進められていく予定であり、この崩壊を教訓として、第三紀の堆積岩類が潜在的にもつ崩壊要因を明らかにして、それを踏まえた調査設計施工マニュアルの作成を目指すものである。

(委員名簿)

委員長	安福 規之	九州大学	教授
委員	池見 洋明	日本文理大学	准教授
〃	石蔵 良平	九州大学	准教授
〃	落合 英俊	九州大学	名誉教授
〃	佐藤 研一	福岡大学	教授
〃	日野 剛徳	佐賀大学	教授
〃	矢ヶ部秀美	NPO法人研究機構ジオセーフ	理事
〃	松尾 誠二	国土交通省九州地方建設局道路部	特定道路工事対策官
〃	沓掛 孝	国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所	所長

(活動状況)

今年度は、道路切土法面における調査・設計・施工と維持管理につながる技術指針（案）に対する詳細な内容の検討および指針案の作成作業がすすめられました。

3. 2023 海域港湾空港技術報告会 in 福岡の開催

報告会は、令和5年2月28日（火）の13:00～17:30で開催されました。開催方法は、コロナ禍が終息へ向かう中、会場のTKP 博多新幹線口 5F プレミアムホールでの対面でのプレゼンテーションのほか、WEB（Microsoft Teams）によるハイブリッド方式での開催となりました。

主催	九州地方整備局港湾空港部 九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門
共催	（公社）地盤工学会九州支部 九州大学学術研究・産学官連携本部 （一財）沿岸技術研究センター （一財）港湾空港総合技術センター 特定非営利活動法人研究機構ジオセーフ

博多港ふ頭株式会社
(一社) 日本埋立浚渫協会
(一社) 港湾技術コンサルタント協会
九州港湾空港建設協会連合会

参加者は、会場が103名、オンラインでの参加者が106名の計209名の方々が参加されました。



報告会の状況①



報告会の状況②

2023 海域港湾空港技術報告会 in 福岡のリーフレットと報告会のプログラムを資料としてホームページに掲載しています。また、事務局にプレゼンテーションの資料をまとめられた報告書を頂きました。

—以上—